



2022年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月14日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6572 URL <https://rpa-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388
 定時株主総会開催予定日 2022年5月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期の連結業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	16,796	49.9	1,076	△20.1	331	△37.8	276	△47.0	△1,210	—
2021年2月期	11,206	11.3	1,346	32.7	532	13.0	521	36.6	21	21.1

（注）包括利益 2022年2月期 △1,215百万円（—） 2021年2月期 21百万円（21.1%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	△19.74	—	△9.8	1.5	2.0
2021年2月期	0.36	0.33	0.2	2.9	4.8

（参考）持分法投資損益 2022年2月期 △5百万円 2021年2月期 —百万円

※ EBITDA（経常利益＋減価償却費＋のれん償却額＋支払利息）

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	17,720	11,645	65.6	190.66
2021年2月期	18,538	13,142	70.9	224.19

（参考）自己資本 2022年2月期 11,628百万円 2021年2月期 13,136百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	607	△973	60	13,101
2021年2月期	1,579	△553	△15	13,405

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年2月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,000	3.0	550	△15.9	100	△61.8	65	△74.1	△50	—	△8.20
通期	19,350	15.2	1,090	1.2	500	50.9	420	51.7	160	—	26.23

（注）EBITDA（経常利益＋減価償却費＋のれん償却額＋支払利息）

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2022年2月期	61,930,000株	2021年2月期	58,596,500株
2022年2月期	940,300株	2021年2月期	—株
2022年2月期	61,299,416株	2021年2月期	58,500,319株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年2月期の個別業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	1,587	△3.4	655	△5.0	679	△7.9	△1,464	—
2021年2月期	1,642	△14.4	689	△30.0	738	△21.1	304	△51.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期	△23.88	—
2021年2月期	5.21	4.74

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	15,336	11,633	75.8	190.66
2021年2月期	16,708	13,395	80.1	228.52

(参考) 自己資本 2022年2月期 11,628百万円 2021年2月期 13,390百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が依然として続いております。新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種の進展等に伴い、今後の経済活動再開による収束が期待されているものの、新たな脅威と成り得る変異株が確認されるなど、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

また、一部出資先の業績動向を踏まえ、当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したものについて投資有価証券評価損601百万円を、ロボットトランスフォーメーション事業の新規事業として取り組んでいる分野において回収可能性を評価した結果、のれん等の減損損失649百万円を計上することになりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は16,796百万円（前連結会計年度比49.9%増）、営業利益は331百万円（前連結会計年度比37.8%減）、経常利益は276百万円（前連結会計年度比47.0%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,210百万円（前連結会計年度は21百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!Lite」、「BizRobo!mini」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。ストック型のライセンス収入中心の収益構造となり、利益率は改善しセグメント利益を伸ばしました。

その結果、ロボットアウトソーシング事業では、売上高は3,354百万円（前連結会計年度比5.8%増）、セグメント利益（営業利益）は640百万円（前連結会計年度比56.0%増）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融カテゴリにおいて一時的な大型のキャンペーン案件が発生したこと、及び新規参入分野の取扱シェアが拡大し、売上高は伸長しました。一方で取扱シェア拡大に向けて販売促進費が増加しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は12,935百万円（前連結会計年度比67.3%増）、セグメント利益（営業利益）は394百万円（前連結会計年度比42.6%減）となりました。

RaaS事業

RaaS事業においては、「RoboRoboコンプライアンスチェック」の有料課金ユーザーが増加、新たに開始したEC事業者向けのサービスも順調に立ち上がり、リカーリングレベニューが増加しました。また、引き続き新しい分野のサービス開発の先行投資を行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は200百万円（前連結会計年度比817.9%増）、セグメント損失（営業損失）は244百万円（前連結会計年度は263百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比較して818百万円減少し、17,720百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して218百万円増加し、15,396百万円となりました。これは主に現金及び預金が781百万円減少した一方で、その他の流動資産が646百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が278百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,036百万円減少し、2,324百万円となりました。これは主に投資有価証券が429百万円減少したこと及びのれんが607百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末と比較して678百万円増加し、6,074百万円となりました。

流動負債は4,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ889百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が500百万円増加したこと及び買掛金が341百万円増加したことによるものであります。

固定負債は1,492百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が287百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比較して1,496百万円減少し、11,645百万円となりました。

これは主に親会社株主に帰属する当期純損失を1,210百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.6%（前連結会計年度末は70.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、13,101百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は607百万円（前連結会計年度比61.5%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失の計上934百万円、法人税等の支払額620百万円、減損損失の計上649百万円、投資有価証券評価損の計上601百万円、のれん償却額の計上405百万円及び減価償却費の計上372百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は973百万円（前連結会計年度比75.8%増）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出924百万円、投資有価証券の売却による収入801百万円、無形固定資産の取得による支出417百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出348百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は60百万円（前連結会計年度は15百万円の支出）となりました。これは短期借入金の純増額500百万円、社債の発行による収入392百万円、自己株式の取得による支出321百万円、長期借入金の返済による支出289百万円及び社債の償還による支出244百万円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
自己資本比率 (%)	53.6	58.2	72.7	70.9	65.6
時価ベースの 自己資本比率 (%)	—	865.8	285.8	193.8	113.2
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	0.7	2.3	25.7	2.0	5.9
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	148.9	95.0	5.3	77.3	29.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 当社は、2018年3月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2018年2月期の時価ベースの自己資本比率については、当社株式が非上場のため記載しておりません。

(注3) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注4) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注5) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!mini」、「BizRobo!Lite」で新規顧客への「BizRobo!」の新規導入を推進し、ユーザー数の拡大を図り、ライセンス売上のストック収入の拡大を図ります。エンジニアリング売上は前期同等を見込んでおります。

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材、金融、通信等の既存分野のシェア拡大に加えて、新たな業界への参入、取扱シェアの拡大を最優先し、積極的に販売促進費を投じる方針です。

RaaS事業においては、コンプライアンス、ECなど既にローンチしているサービスで、無料ユーザー、有料ユーザーの獲得を進め、事業の立ち上げを図るとともに、新たなサービスの事業開発等の先行投資を実施いたします。

以上を踏まえ、当社グループの次期業績見通しにつきましては、売上高19,350百万円（前年同期比15.2%増）、EBITDA1,090百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益500百万円（前年同期比50.9%増）、経常利益420百万円（前年同期比51.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益160百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,405,199	12,623,491
受取手形及び売掛金	1,492,547	1,771,357
仕掛品	9,652	12,016
前払費用	129,217	201,412
その他	141,996	788,375
流動資産合計	15,178,613	15,396,652
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,624	56,624
減価償却累計額	△4,496	△9,401
建物(純額)	52,128	47,222
工具、器具及び備品	116,199	126,937
減価償却累計額	△33,572	△55,181
工具、器具及び備品(純額)	82,627	71,756
有形固定資産合計	134,755	118,978
無形固定資産		
のれん	1,177,588	570,397
ソフトウェア	653,453	659,772
ソフトウェア仮勘定	53,140	68,951
その他	72	72
無形固定資産合計	1,884,255	1,299,193
投資その他の資産		
投資有価証券	821,751	392,241
敷金	234,721	227,645
繰延税金資産	284,883	286,220
投資その他の資産合計	1,341,356	906,107
固定資産合計	3,360,366	2,324,280
資産合計	18,538,980	17,720,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,000,655	1,342,354
短期借入金	1,000,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	244,000	324,000
1年内返済予定の長期借入金	289,029	287,196
未払金	154,829	193,701
未払法人税等	288,564	185,388
賞与引当金	83,268	68,218
変動報酬引当金	72,585	—
その他	560,596	681,957
流動負債合計	3,693,527	4,582,815
固定負債		
社債	676,000	752,000
長期借入金	1,027,339	740,143
固定負債合計	1,703,339	1,492,143
負債合計	5,396,866	6,074,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,888,936	5,900,441
資本剰余金	6,025,055	6,036,560
利益剰余金	1,222,858	12,840
自己株式	—	△321,260
株主資本合計	13,136,851	11,628,582
新株予約権	5,263	5,263
非支配株主持分	—	12,129
純資産合計	13,142,114	11,645,974
負債純資産合計	18,538,980	17,720,933

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	11,206,457	16,796,392
売上原価	7,591,163	13,099,801
売上総利益	3,615,293	3,696,590
販売費及び一般管理費		
役員報酬	144,420	130,600
給料及び手当	799,719	813,124
業務委託費	393,636	577,708
賞与引当金繰入額	81,531	67,120
貸倒引当金繰入額	△1,094	—
のれん償却額	381,554	405,383
その他	1,283,122	1,371,416
販売費及び一般管理費合計	3,082,889	3,365,353
営業利益	532,403	331,236
営業外収益		
受取利息及び配当金	129	2,332
受取保険金	7,152	—
為替差益	—	840
投資事業組合運用益	3,114	—
還付消費税等	5,537	—
その他	8,041	647
営業外収益合計	23,975	3,821
営業外費用		
支払利息	20,440	21,378
為替差損	527	—
支払手数料	257	993
投資事業組合運用損	—	19,648
持分法による投資損失	—	5,255
社債発行費	4,198	7,632
その他	9,022	3,376
営業外費用合計	34,446	58,284
経常利益	521,932	276,773
特別利益		
事業譲渡益	—	40,000
特別利益合計	—	40,000
特別損失		
減損損失	167,542	649,847
投資有価証券評価損	—	601,105
特別損失合計	167,542	1,250,953
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	354,389	△934,179
法人税、住民税及び事業税	411,494	282,436
法人税等調整額	△78,134	△1,337
法人税等合計	333,359	281,099
当期純利益又は当期純損失(△)	21,030	△1,215,279
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△5,261
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	21,030	△1,210,018

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)	21,030	△1,215,279
包括利益	21,030	△1,215,279
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	21,030	△1,210,018
非支配株主に係る包括利益	—	△5,261

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	5,881,796	6,017,915	1,201,828	—
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	7,140	7,140		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			21,030	
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	7,140	7,140	21,030	—
当期末残高	5,888,936	6,025,055	1,222,858	—

	株主資本	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	株主資本合計			
当期首残高	13,101,540	5,263	—	13,106,803
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	14,280			14,280
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	21,030			21,030
自己株式の取得	—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	—	—
当期変動額合計	35,310	—	—	35,310
当期末残高	13,136,851	5,263	—	13,142,114

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	5,888,936	6,025,055	1,222,858	—
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	11,505	11,505		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,210,018	
自己株式の取得				△321,260
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	11,505	11,505	△1,210,018	△321,260
当期末残高	5,900,441	6,036,560	12,840	△321,260

	株主資本	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	株主資本合計			
当期首残高	13,136,851	5,263	—	13,142,114
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	23,010			23,010
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,210,018			△1,210,018
自己株式の取得	△321,260			△321,260
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	12,129	12,129
当期変動額合計	△1,508,268	—	12,129	△1,496,139
当期末残高	11,628,582	5,263	12,129	11,645,974

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	354,389	△934,179
減価償却費	422,245	372,503
のれん償却額	381,554	405,383
減損損失	167,542	649,847
投資有価証券評価損益(△は益)	—	601,105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,094	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,989	△15,050
変動報酬引当金の増減額(△は減少)	△60,537	△72,585
受取利息及び受取配当金	△129	△2,332
支払利息	20,440	21,378
社債発行費	4,198	7,632
為替差損益(△は益)	272	△840
持分法による投資損益(△は益)	—	5,255
投資事業組合運用損益(△は益)	△3,114	19,648
売上債権の増減額(△は増加)	△156,490	△278,809
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,018	△2,363
仕入債務の増減額(△は減少)	158,271	319,799
未払金の増減額(△は減少)	△76,346	35,366
その他	495,618	18,957
小計	1,713,790	1,150,717
利息の受取額	129	2,332
利息の支払額	△20,525	△20,667
法人税等の支払額	△371,073	△620,303
法人税等の還付額	257,484	95,789
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,579,805	607,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△139,542	△10,738
無形固定資産の取得による支出	△280,593	△417,421
投資有価証券の取得による支出	△30,000	△924,399
投資有価証券の売却による収入	—	801,904
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△203,090	△348,039
関係会社株式の取得による支出	—	△74,500
関係会社株式の売却による収入	10,000	—
敷金の差入による支出	△1,280	△1,688
敷金の回収による収入	90,805	1,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△553,701	△973,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	500,000
社債の発行による収入	215,801	392,367
社債の償還による支出	△200,000	△244,000
長期借入れによる収入	210,000	—
長期借入金の返済による支出	△252,882	△289,029
非支配株主からの払込みによる収入	—	490
株式の発行による収入	14,280	23,010
自己株式の取得による支出	—	△321,967
その他	△2,272	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,073	60,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△272	954
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,010,758	△303,675
現金及び現金同等物の期首残高	12,394,441	13,405,199
現金及び現金同等物の期末残高	13,405,199	13,101,523

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社であるR P Aホールディングス株式会社（以下、当社）と、事業を担う連結子会社11社から構成されており、ロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業、RaaS事業及びセールスアウトソーシング事業を展開しております。提供サービスをベースにして事業セグメントを集約しており、ロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業及びRaaS事業を報告セグメントとしております。

主要な連結子会社の事業内容は以下のとおりであります。

連結子会社	報告セグメント	事業
R P Aテクノロジーズ株式会社	ロボットアウトソーシング事業	ロボットアウトソーシング事業
株式会社セグメント	ロボットトランスフォーメーション事業	ロボットトランスフォーメーション事業
株式会社ディレクト		
オープンアソシエイツ株式会社	R a a S 事業	R a a S 事業
リーグル株式会社	その他	セールスアウトソーシング事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ロボットア ウトソーシ ング事業	ロボットト ランスフォ ーメーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,170,898	7,730,816	21,862	10,923,577	282,880	—	11,206,457
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,210	7,679	50,798	66,688	16,950	△83,638	—
計	3,179,108	7,738,496	72,660	10,990,265	299,830	△83,638	11,206,457
セグメント利益又は損失 (△)	410,498	685,946	△263,250	833,194	△8,065	△292,725	532,403
セグメント資産	2,033,948	5,476,329	476,882	7,987,160	167,575	10,384,244	18,538,980
その他の項目							
減価償却費	298,636	32,559	61,466	392,662	—	29,582	422,245
持分法適用会社への投 資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	116,948	221,351	135,547	473,847	—	151,226	625,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△292,725千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額10,384,244千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等10,569,592千円及びセグメント間債権の消去△185,348千円であります。
- (3) 減価償却費の調整額29,582千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の減価償却費29,582千円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額151,226千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の本社造作及び工具、器具及び備品であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ロボットア ウトソーシ ング事業	ロボットト ランスフォ ーメーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,354,588	12,935,865	200,687	16,491,141	305,250	—	16,796,392
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,015	7,601	6,271	21,888	4,090	△25,978	—
計	3,362,603	12,943,467	206,959	16,513,030	309,340	△25,978	16,796,392
セグメント利益又は損失 (△)	640,564	394,032	△244,817	789,779	△54,524	△404,017	331,236
セグメント資産	2,184,668	4,592,913	668,934	7,446,517	200,164	10,074,251	17,720,933
その他の項目							
減価償却費	268,399	23,802	52,165	344,366	386	27,749	372,503
持分法適用会社への投 資額	—	—	—	—	—	79,244	79,244
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	312,940	8,758	481,719	803,417	18,653	2,824	824,895

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△404,017千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額10,074,251千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等10,089,338千円及びセグメント間債権の消去△15,087千円であります。
- (3) 減価償却費の調整額27,749千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の減価償却費27,749千円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,824千円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の工具、器具及び備品であります。
- (5) 持分法適用会社への投資額の調整額79,244千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SBI証券	2,610,515	ロボットトランスフォーメーション事業

当連結会計年度（自 2021年3月1日 至 2022年2月28日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SBI証券	5,376,637	ロボットトランスフォーメーション事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	計			
減損損失	158,429	9,113	—	167,542	—	—	167,542

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	計			
減損損失	17,800	612,733	19,313	649,847	—	—	649,847

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	計			
当期償却額	442	381,112	—	381,554	—	—	381,554
当期末残高	—	1,177,588	—	1,177,588	—	—	1,177,588

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ロボットアウトソーシング事業	ロボットトランスフォーメーション事業	RaaS事業	計			
当期償却額	—	378,408	25,566	403,974	1,408	—	405,383
当期末残高	—	222,536	332,368	554,905	15,491	—	570,397

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり純資産額	224.19円	190.66円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	0.36円	△19.74円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	0.33円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	21,030	△1,210,018
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	21,030	△1,210,018
普通株式の期中平均株式数 (株)	58,500,319	61,299,416
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数 (株)	5,867,761	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。